

例 言

1. 本編は、大分県教育委員会が平成11年度国庫補助金を得て実施した大分県内遺跡発掘調査事業の調査概報である。
2. 大分県内遺跡発掘調査事業は、県下で実施される農業基盤整備諸事業及び林道事業に対し事前の分布調査ならびに試掘調査を行うもので、本報告書はその概要を記す。
3. 調査の実施にあたり大分県農政部、同林業水産部、県内各市町村農業基盤整備関係事業担当課、各市町村教育委員会の協力を得た。
4. 本書の執筆は原田・甲斐・宮内があたり、宮内が編集した。

目 次

I. はじめに	119
1. 調査の経過	119
2. 調査団の構成	119
II. 分布調査の概要	120
III. 試掘調査の概要	123
1. 軒ノ井地区	127
2. 真那井地区	128
3. 三尺山地区	128
4. 野津原西部地区	129
5. 犬飼地区	129
6. 大野川中央地区	130
7. 朝倉地区	130
8. 宮生地区	131
9. 久住中央地区	134
10. 山中地区	134
11. 荻西部地区	135
12. 日田地区	135
13. 上津江地区	136
IV. まとめ	136

I. はじめに

1. 調査の経過

平成11年度に大分県内で計画された農業・林業基盤整備関係諸事業は約200地区に及ぶ。こ
こ数年來のは場整備事業の全体的な減少傾向は変わらないが、数十haを越える大規模は場整備
事業が現在進行中である市町村は、中津市・安心院町・豊後高田市・久住町・日田市などで、
これらの市町村では今後数年間は事業が継続される予定である。このため、農業基盤整備事業
と各種開発事業への対応と調整に苦慮している所も多い。また、近年事業が増加している農道
の整備は、広域農道、農免農道、一般農道、団体管農道、ふるさと農道等の様々の名称のもと
全体の約半数におよび、試掘調査や本調査を要する箇所もこれに比例し増えている。この他の
事業には、畑地帯総合整備、灌漑排水、基幹・防災水利、水環境整備、魚道整備など多種多様
なものがあるが、内陸部で行われる畑地への対応が比較的多い。

これらの事業については、平成11年1月に県農政部と林業水産部から事前協議があり、県文
化課では同年2～3月に市町村教育委員会の協力を得て事業予定地区のすべての分布調査を行っ
た。その結果と取扱いについての回答を関係各機関に通知し、平成11年4月から平成12年3月
にかけて開発部局からの依頼を受け各試掘調査を実施した。試掘調査により埋蔵文化財が確認
された地区については、開発部局と地元市町村教育委員会を含む関係各機関の協議が持たれ、
工法変更等の保存処置が不可能となった部分は記録保存のための本調査を行った。また、平成
12年度事業予定地区についても平成12年1月に協議があり、同年2～3月に分布調査を実施する
予定である。

2. 調査団の構成

調査主体

大分県教育委員会

調査委員

賀川 光夫（大分県文化財保護審議会会長）

調査員

山本 芳直（大分県教育庁文化課長）

出原 基之（同 参事兼課長補佐）

清水 宗昭（同 課長補佐兼埋蔵文化財第二係長）

宮内 克己（同 副主幹）

後藤 一重（同 主査）

甲斐 寿義（同 主査）

原田 昭一（同 主査）

調査事務

小玉 学司（文化課長補佐兼管理係長）

西 哲弘（同 副主幹）

石堂喜久次（同 主査）

西森 公誠（同 主任）

宮添 春彦（同 主任）

岐部要一郎（同 主事）

II. 分布調査の概要

分布調査は農林業基盤整備関係諸事業予定地区の全てについて行う計画であり、その実施にあたり県下各市町村教育委員会と関係各開発部局の協力を得る。

農業・林業関係各開発部局から協議のあった事業予定地区は次一覧の通りである。

平成12年度 農・林業関係事業予定箇所一覧

No.	事業名	地区名	市町村名
1	農業用水再編対策事業	荒瀬地区	中津市
2	水環境整備事業	下池水地区	中津市
3	新生産調整推進排水対策特別事業	諸田地区 23ha	中津市
4	農業用水再編対策事業	荒瀬地区	三光村
5	一般農道整備事業	鹿嵐 0.05ha	本郷馬渡町
6	農免農道整備事業	深耶馬2期 1ha	耶馬渡町
7	農免農道整備事業	中摩 0.72ha	耶馬渡町
8	大分の茶産業新生事業	未定 2ha	耶馬渡町
9	広域基幹林道	市平両烟線 0.80ha	山国町
10	ふるさと林道緊急整備	岳滅鬼線 0.70ha	山国町
11	広域農道整備事業	宇佐 2.25ha	宇佐市
12	広域農道整備事業	宇佐第2 2.70ha	宇佐市
13	ふるさと農道整備事業	宇佐東部 0.03ha	宇佐市
14	ふるさと農道整備事業	宇佐東部2期 2ha	宇佐市
15	水環境整備事業	並石地区	豊後高田市
16	広域農道整備事業	宇佐第2	豊後高田市
17	農免農道整備事業	河内2期 0.40ha	豊後高田市
18	農免農道整備事業	天堤 1.48ha	豊後高田市
19	畑地帯総合整備(担い手支援型)	千拓第2 101ha	豊後高田市
20	林業総合整備林道開設	落水線 2.10ha	豊後高田市
21	ふるさと林道緊急整備	豊後高田山香線 1.50ha	豊後高田市
22	ほ場整備事業	東都甲 14ha	豊後高田市
23	ほ場整備事業	落 7ha	豊後高田市
24	農地環境整備事業	長岩屋 10ha	豊後高田市
25	普通林道開設事業	大門定別当 0.80ha	院内町
26	農免農道整備事業	尾立 0.59ha	安心院町
27	農免農道整備事業	小坂場 0.40ha	安心院町
28	林業総合整備林道開設	烏帽子線 0.70ha	安心院町
29	ほ場整備事業	安心院北部 24ha	安心院町
30	ほ場整備事業	安心院東部 15ha	安心院町
31	中山間地域総合整備	函院 2ha	安心院町
32	農免農道整備事業	天堤 1.48ha	大田村
33	一般農道整備事業	大平 2ha	真玉町
34	一般農道整備事業	湯原 1.40ha	真玉町
35	中山間地域総合整備事業	白野 10ha	真玉町
36	普通林道開設事業	鷲ノ巣線 0.80ha	国見町
37	農免農道整備事業	新采 0.96ha	国東町
38	一般農道整備事業	安岐西子 1.68ha	安岐町
39	一般農道整備事業	大入道2期 1.44ha	安岐町
40	ふるさと農道整備事業	小狭間馬渡 2.10ha	安岐町
41	農免農道整備事業	天堤 1.48ha	安岐町
42	ほ場整備事業	安岐 50ha	安岐町
43	一般農道整備事業	溝井 0.75ha	杵築市
44	農免農道整備事業	大内 0.28ha	杵築市
45	ふるさと農道整備事業	小狭間馬渡	杵築市
46	畑地帯総合整備(緊急整備型)	狩宿北部 41.50ha	杵築市

No.	事業名	地区名	面積	市町村名
47	中山間総合整備事業	杵築連見	3.50ha	杵築市
48	住環境整備事業	八坂地区	10ha	杵築市
49	広域農道整備事業	日出	6.15ha	日出町
50	畑地帯総合整備(緊急整備型)	丸田地区	39ha	日出町
51	中山間総合整備事業	杵築連見	8.30ha	日出町
52	中山間総合整備事業(農道)	杵築連見	750m	日出町
53	農免農道整備事業	杉ヶ谷	0.90ha	山香町
54	農免農道整備事業	口久保2期	0.40ha	山香町
55	ふるさと林道緊急整備事業	豊後高田山香線		山香町
56	広域農道整備事業	大南野津	2.10ha	大分市
57	基幹水利施設補修事業	佐野	239ha	大分市
58	畑地帯総合整備事業	佐賀岡東部地区	214ha	佐賀岡町
59	中山間総合整備事業	木佐上	8ha	佐賀岡町
60	広域農道整備事業	大分中部	1.80ha	野津原町
61	広域基幹林道	入蔵大峠線	1.20ha	野津原町
62	ほ場整備事業	野津原西部	13ha	野津原町
63	農免農道西部事業	長宝	0.56ha	庄内町
64	広域基幹林道	大分中部線	1.6ha	庄内町
65	農免農道整備事業	庄内湯平5期	0.22ha	湯布院町
66	広域農道整備事業	関白津	2.15ha	臼杵市
67	広域基幹林道	額南山線	1ha	臼杵市
68	中山間総合整備事業	藤河内	2ha	臼杵市
69	漁港関連道	泊ヶ内	480m	臼杵市
70	ふるさと農道整備事業	克代	0.01ha	津久見市
71	普通林道開設	一の鳥居線	0.60ha	津久見市
72	農免農道整備事業	四浦	0.24ha	津久見市
73	広域農道整備事業	大野南部	1.26ha	野津町
74	農免農道整備事業	戸上	1.18ha	野津町
75	ふるさと農道整備事業	吉四六	0.59ha	野津町
76	広域基幹林道	吉四六線	0.50ha	野津町
77	ふるさと林道緊急整備事業	戸屋平宇曾河内線	1.20ha	野津町
78	大分の茶産業新生事業	未定		野津町
79	農免農道整備事業	堅田2期	0.22ha	佐伯市
80	水環境整備事業	木立地区		佐伯市
81	農村自然環境整備(魚道整備型)	番匠地区		佐伯市
82	広域基幹林道	宇日蒲江線		佐伯市
83	農村自然環境整備(魚道整備型)	番匠地区		弥生町
84	棚田地域等緊急保全対策事業	柳瀬	2ha	宇日町
85	一般農道整備事業	鹿岡	0.02ha	宇日町
86	普通林道開設	大刈野線	0.60ha	宇日町
87	普通林道開設	葛葉西山線	0.40ha	宇日町
88	ふるさと林道緊急整備	宇日蒲江線	0.80ha	宇日町
89	ふるさと林道緊急整備	大石見明線	1.50ha	宇日町
90	農村自然環境整備(魚道整備型)	番匠地区		本匠村
91	ふるさと林道緊急整備	戸屋平宇曾河内線		本匠村
92	農村自然環境整備(魚道整備型)	番匠地区		直川村
93	広域基幹林道	宇日蒲江線		直川村
94	ふるさと林道緊急整備	宇日蒲江線		直川村
95	ふるさと林道緊急整備	大石見明線		直川村
96	普通林道開設	名護屋線	0.60ha	蒲江町
97	県営かんがい排水事業	大野川中央		犬飼町
98	畑地帯総合整備事業	大野川中央		犬飼町
99	一般農道整備事業	倉波	1.14ha	千歳村
100	県営かんがい排水事業	大野川中央		千歳村
101	畑地帯総合整備事業	大野川中央		千歳村
102	広域農道整備事業	大野川中流	2.25ha	大野町
103	一般農道整備事業	沢田	0.60ha	大野町
104	一般農道整備事業	沢田2期	0.60ha	大野町
105	農免農道整備事業	直北	0.84ha	大野町

No.	事業名	地区名	面積	市町村名
106	ふるさと農道整備事業	大分中部2期	1.19ha	大野町
107	大分の茶産業新生事業	未定		大野町
108	広域基幹林道	三国夙立線	1.20ha	三重町
109	ふるさと林道緊急整備	三国夙立線	1.20ha	三重町
110	ほ場整備事業	朝倉地区	9ha	朝地町
111	農免農道整備事業	宮生	0.98ha	朝地町
112	ほ場整備事業	上冬地区	10ha	緒方町
113	ほ場整備事業	井上地区	3ha	緒方町
114	一般農道整備事業	徳尾	0.90ha	緒方町
115	農業用水再編対策事業	緒方地区		緒方町
116	基幹水利施設補修事業	富士緒		緒方町
117	一般農道整備事業	緩木	0.05ha	竹田市
118	農免農道整備事業	小富1-2期	1.15ha	竹田市
119	農免農道整備事業	小川2期	0.06ha	竹田市
120	農免農道整備事業	平田	0.36ha	竹田市
121	農免農道整備事業	栲田	0.30ha	竹田市
122	基幹水利施設補修事業	富士緒		竹田市
123	畑地帯総合整備事業	大野川上流		竹田市
124	普通林道開設	高伏木原線	1.60ha	竹田市
125	ほ場整備事業	平田	7ha	竹田市
126	ほ場整備事業	竹田北部	5ha	竹田市
127	ほ場整備事業	中角	14ha	竹田市
128	ほ場整備事業	九重野	5ha	竹田市
129	農免農道整備事業	萩西部3期	0.96ha	萩町
130	農免農道整備事業	西福寺	0.52ha	萩町
131	畑地帯総合整備事業	大野川上流		萩町
132	畑地帯総合整備事業	萩地区		萩町
133	ほ場整備事業	久住中央	10.60ha	久住町
134	中山間地域総合整備事業(農道)	山中	0.20ha	久住町
135	農業集落排水	久住	0.30ha	久住町
136	畑地帯総合整備事業	竹田地区		久住町
137	一般農道整備事業	芦瀬	0.72ha	直入町
138	水環境整備事業	長湯地区		直入町
139	広域農道整備事業	玖珠		九重町
140	普通林道開設	栗綱線	0.80ha	九重町
141	中山間地域総合整備事業	九重(松木)	2.80ha	九重町
142	中山間地域総合整備事業	九重(栗野)	2.90ha	九重町
143	広域農道整備事業	玖珠	3.75ha	玖珠町
144	農免農道整備事業	伐株	0.99ha	玖珠町
145	農村自然環境整備事業	北山田井堰		玖珠町
146	ほ場整備事業	日出生	1.20ha	玖珠町
147	広域農道整備事業	口田		天瀬町
148	農免農道整備事業	中村	0.36ha	天瀬町
149	農免農道整備事業	合田2期	0.80ha	天瀬町
150	ほ場整備事業	女子畑	20ha	天瀬町
151	広域農道整備事業	日田		日田市
152	畑地帯総合整備事業	山田原		日田市
153	広域基幹林道	岳誠丸線	1.10ha	日田市
154	ふるさと林道緊急整備	岳誠丸線	1.10ha	日田市
155	ほ場整備事業	大明	20ha	日田市
156	ほ場整備事業	求来里	5ha	日田市
157	中山間地域総合整備	羽田	5ha	日田市
158	農村総合整備(農道)	口田	0.20ha	口田市
159	広域農道整備事業	日田		大山町
160	一般農道整備事業	大久保	0.90ha	大山町
161	ふるさと農道整備事業	東入山	0.60ha	大山町
162	農免農道整備事業	西谷谷	0.06ha	上津江村
163	林業総合整備林道開設	曾家中西線	0.70ha	中津江村
164	ふるさと林道緊急整備	曾家中西線	0.70ha	前津江村

Ⅲ 試掘調査の概要

平成11年度実施予定192箇所の分布調査結果の一覧は次項に示した通りであるが、判定の内訳は以下による。

- A 事業予定地が周知遺跡に入るもの。12市町村、21箇所。
- B 遺物の散布が認められるもの、または遺跡が存在する可能性が高いもの。21市町村、39箇所。
- C わずかではあるが、遺跡の存在する可能性があるもの。4箇所。
- D 遺跡の存在する可能性が低いもの。123箇所。
- E 再度の分布調査を要するもの。4箇所。

この他、試掘調査済み1箇所。



第1図 平成11年度農林業関係事業実施地区

平成11年度 農・林業関係事業分布調査結果一覧

番号	事業名	地区名	市町村名	結果
1	農業用水再編対策事業（地域用水機能増進型）	荒瀬地区	中津市	D
2	水環境整備事業	下池水地区	中津市	A
3	新生産調整推進排水対策特別事業	膳田地区	中津市	A
4	農村活性化住環境整備事業	沼田定得地区	中津市	A
5	水環境整備事業	並石地区	豊後高田市	D
6	広域農道	宇佐第2地区	豊後高田市	D
7	農免農道	河内地区	豊後高田市	D
8	農免農道	河内2期地区	豊後高田市	D
9	農免農道	嶺崎地区	豊後高田市	B
10	ふるさと農道	河内地区	豊後高田市	D
11	ふるさと農道	宇佐東部地区	豊後高田市	B
12	ほ場整備事業	嶺崎地区	豊後高田市	A
13	ほ場整備事業	東部甲地区	豊後高田市	B
14	ほ場整備事業	露地区	豊後高田市	B
15	農地環境整備事業	長岩屋地区	豊後高田市	B
16	農業用水再編対策事業（地域用水機能増進型）	荒瀬地区	二光村	D
17	広域農道	耶馬溪東部地区	本耶馬溪町	D
18	一般農道	鹿嵐地区	本耶馬溪町	D
19	農免農道	深塚第2期地区	本耶馬溪町	D
20	ふるさと農道	山移西谷地区	本耶馬溪町	D
21	一般農道	鼻推地区	耶馬溪町	D
22	農免農道	深塚第2期地区	耶馬溪町	D
23	農免農道	中摩地区	耶馬溪町	D
24	ふるさと農道	山移西谷地区	耶馬溪町	D
25	農免農道	中摩地区	山国町	D
26	広域農道	宇佐地区	宇佐市	C
27	広域農道	宇佐第2地区	宇佐市	B
28	一般農道	畑州2期地区	宇佐市	D
29	ふるさと農道	宇佐東部地区	宇佐市	A
30	ふるさと農道	宇佐東部2期地区	宇佐市	D
31	一般農道	岩崎	宇佐市	D
32	一般農道	鹿嵐地区	院内町	D
33	農免農道	大副地区	院内町	D
34	農免農道	大副2期地区	院内町	D
35	水環境整備事業	日指地区	安心院町	D
36	一般農道	上ノ原地区	安心院町	E
37	農免農道	小坂場地区	安心院町	D
38	農免農道	尾立地区	安心院町	D
39	農免農道	小坂場2期地区	安心院町	D
40	ほ場整備事業	新且川地区	安心院町	A
41	ほ場整備事業	安心院北部地区	安心院町	A
42	ほ場整備事業	安心院東部地区	安心院町	B
43	ほ場整備事業	深見南部地区	安心院町	B
44	中山間地域総合整備	両院地区（賀嶋）	安心院町	D
45	中山間地域総合整備	両院地区（有徳原）	安心院町	B
46	農免農道	大堤地区	大田村	D
47	畑地帯総合整備事業	金星地区	真玉町	D
48	一般農道	大平地区	真玉町	B
49	一般農道	湯原地区	真玉町	D
50	ほ場整備事業	新田地区	真玉町	D
51	中山間地域総合整備事業（道路部分）	白野地区	真玉町	D
52	中山間地域総合整備事業（ほ場部分）	白野地区	真玉町	B
53	一般農道	見目地区	香々地町	D
54	農地環境整備事業	夷地区	香々地町	D
55	畑地帯総合整備事業	狩宿北部地区	杵築市	D
56	一般農道	清井地区	杵築市	D
57	開拓地整備事業	杵築尾弘地区	杵築市	D
58	農免農道	大内地区	杵築市	B
59	ふるさと農道	小狭間馬渡地区	杵築市	D
60	中山間地域総合整備	年田1期	杵築市	D
61	中山間地域総合整備	年田2期	杵築市	B

番号	事業名	地区名	市町村名	結果
62	中山間地域総合整備	大台	杵築市	B
63	中山間地域総合整備	生桑・野添	杵築市	D
64	農免農道	新栄地区	国東町	D
65	農村総合整備事業	国東地区	国東町	D
66	水環境整備事業	龜迫地区	武蔵町	D
67	一般農道	大入道2期地区	安岐町	D
68	一般農道	安岐西子地区	安岐町	B
69	農免農道	天堀地区	安岐町	D
70	ふるさと農道	小狭間岩波地区	安岐町	D
71	農村活性化住環境整備事業	瓶屋地区	安岐町	A
72	担い手育成基盤整備事業	安岐地区	安岐町	A
73	畑地帯総合整備事業	丸田地区	日出町	B
74	広域農道	日出地区	日出町	B
75	農免農道	愛宕地区	日出町	C
76	水環境整備事業	山指地区	山香町	D
77	農免農道	杉ヶ谷地区	山香町	D
78	農免農道	目久保2期地区	山香町	D
79	基幹水利施設補修事業	佐野地区	大分市	D
80	広域農道	大南野津地区	大分市	D
81	広域農道	関白津地区	臼杵市	D
82	広域農道	関白津2期地区	津久見市	D
83	農免農道	四浦地区	津久見市	D
84	ふるさと農道	荒代地区	津久見市	D
85	広域農道	大分中部地区	野津原町	D
86	一般農道	芦瀬地区	野津原町	D
87	農免農道	入蔵地区	野津原町	D
88	ほ場整備事業	野津原西部地区	野津原町	B
89	ふるさと農道	庄内湯平地区	庄内町	D
90	農免農道	長宝地区	庄内町	B
91	農免農道	庄内湯平5期地区	湯布院町	D
92	ふるさと農道	庄内湯平地区	湯布院町	D
93	畑地帯総合整備事業	佐賀国東部地区	佐賀園町	B
94	中山間地域総合整備事業	木佐上地区	佐賀園町	D
95	水環境整備事業	木立地区	佐伯市	D
96	農免農道	堅田2期地区	佐伯市	D
97	一般農道	最勝海地区	上浦町	D
98	林業構造改善事業(作業道開設)	トビ七山線	本匠村	D
99	広域農道	豊南野津地区	本匠村	D
100	一般農道	重岡地区	宇目町	D
101	広域農道	豊南野津地区	真川村	D
102	ふるさと農道	尾浦地区	蒲江町	D
103	基幹水利施設補修事業	富士嶺地区	竹田市	D
104	広域農道	大野川上流南部地区	竹田市	D
105	畑地帯総合整備事業	大野川上流地区	竹田市	D
106	畑地帯総合整備事業	竹田地区	竹田市	D
107	一般農道	川床2期地区	竹田市	D
108	一般農道	観木地区	竹田市	D
109	農免農道	小富士2期地区	竹田市	A
110	農免農道	平田地区	竹田市	A
111	農免農道	狭田地区	竹田市	A
112	農免農道	黒原地区	竹田市	B
113	農免農道	小川2期地区	竹田市	D
114	林道開設	高伏・木原線	竹田市	D
115	ほ場整備事業	平田地区	竹田市	A
116	ほ場整備事業	中角地区	竹田市	B
117	ほ場整備事業	九重野地区	竹田市	C
118	広域農道	大野南部地区	野津町	D
119	広域農道	豊南野津地区	野津町	D
120	広域農道	大南野津地区	野津町	D
121	一般農道	野津西部2期地区	野津町	D
122	農免農道	戸上地区	野津町	D

番号	事業名	地区名	市町村名	結果
123	農免農道	戸上2期地区	野津町	D
124	ふるさと農道	古四六地区	野津町	D
125	土地改良総合整備事業	野津地区	野津町	D
126	広域農道	大野南部地区	三重町	E
127	一般農道	野津西部2期地区	三重町	D
128	農免農道	三重中央地区	三重町	D
129	基幹水利施設補修事業	富士嶺地区	緒方町	D
130	農業用水再編対策事業(地域用水機能増進型)	緒方地区	緒方町	D
131	広域農道	大野川中流地区	緒方町	E
132	一般農道	徳尾地区	緒方町	D
133	ふるさと農道	大野川中流2期地区	緒方町	E
134	ほ場整備事業	上冬原地区	緒方町	B
135	農免農道	宮生地区	朝地町	A
136	ほ場整備事業	朝倉地区	朝地町	A
137	広域農道	大野川中流地区	大野町	A
138	一般農道	沢田2期地区	大野町	D
139	一般農道	沢田地区	大野町	D
140	農免農道	直北地区	大野町	D
141	ふるさと農道	大分中部2期地区	大野町	D
142	県営かんがい排水事業	大野川中央地区	千歳村	D
143	畑地帯総合整備事業	大野川中央地区	千歳村	B
144	一般農道	倉波地区	千歳村	C
145	県営かんがい排水事業	大野川中央地区	犬飼町	D
146	畑地帯総合整備事業	大野川中央地区	犬飼町	A
147	農免農道	戸上地区	犬飼町	D
148	農免農道	戸上2期地区	犬飼町	D
149	農免農道	犬飼地区	犬飼町	B
150	ふるさと農道	吐合地区	犬飼町	D
151	畑地帯総合整備事業	大野川上流地区	我町	D
152	県営かんがい排水事業	我柏原地区	我町	D
153	畑地帯総合整備事業	我地区	我町	D
154	農免農道	我西部地区	我町	A
155	農免農道	西福寺地区	我町	D
156	農村総合整備事業	中原地区	我町	B
157	畑地帯総合整備事業	竹田地区	久住町	D
158	農免農道	栗原地区	久住町	D
159	ほ場整備事業	都野西部地区	久住町	F
160	ほ場整備事業	久住中央地区	久住町	B
161	中山間地域総合整備事業	山中地区	久住町	B
162	水環境整備事業	長湯地区	直入町	D
163	一般農道	芦瀬地区	直入町	D
164	畑地帯総合整備事業	山田原地区	日田市	A
165	広域農道	日田地区	日田市	B
166	農免農道	小野地区	日田市	B
167	農業生産体制強化総合推進対策事業	日田地区	日田市	A
168	ほ場整備事業	大明地区	日田市	B
169	中山間地域総合整備事業	羽田地区	日田市	B
170	農村自然環境整備事業(魚道整備型)	北山田井瀬地区	玖珠町	D
171	広域農道	玖珠地区	玖珠町	B
172	農免農道	伐株地区	玖珠町	D
173	農免農道	午下中塚2期地区	玖珠町	D
174	ふるさと農道	岩室地区	玖珠町	D
175	ほ場整備事業	日出牛地区	玖珠町	B
176	棚田地域等緊急保全対策事業	下泊里	玖珠町	B
177	広域農道	玖珠地区	九重町	D
178	ふるさと農道	玖珠地区	九重町	D
179	中山間地域総合整備事業	九重地区	九重町	B
180	一般農道	前津江地区	前津江村	D
181	ふるさと農道	太郎瀬第2地区	前津江村	D
182	農免農道	西雑谷地区	上津江村	D
183	中山間地域総合整備事業	上津江地区	上津江村	B

番号	事業名	地区名	市町村名	結果
184	広域農道	日田地区	大山町	D
185	一般農道	大久保地区	大山町	D
186	ふるさと農道	東大山地区	大山町	D
187	広域農道	日田地区	天瀬町	A
188	農免農道	金ヶ塔地区	天瀬町	D
189	農免農道	中村地区	天瀬町	D
190	農免農道	合田2期地区	天瀬町	D
191	県営ほ場整備事業	塚田	天瀬町	B
192	担い手育成基盤整備事業	女子畑	天瀬町	B

試掘調査は、分布調査により遺跡の存在する可能性の高いAとBに判定された地区において実施した。その内、中津市、宇佐市、豊後高田市、安心院町、杵築市、緒方町、三重町、竹田市、日田市については各市町村教育委員会が対応し、これ以外を県文化課が対応した。

平成11年12月現在で大分県文化課が実施した試掘調査の概要は以下のとおりである。

1. 軒ノ井地区

現在地：速見郡日出町大字大神字軒ノ井

事業名：広域農道整備事業 日出

調査対象面積：約1ha

調査担当者：宮内 克己

調査の概要：日出町東部、標高45～50mの台地上に位置し、南側には中世の周知遺跡である軒ノ井遺跡等が存在する。

試掘調査は、工事予定地に2本のトレンチを設定し重機により掘り下げた。表土下にはローム層が現れ、遺物・遺構は全く確認されず、工事の実施にあたり問題ないとされた。



第2図 軒ノ井地区の位置



2. 真那井地区

現在地： 速見郡日出町大字真那井

事業名： 広域農道整備事業 日出

調査対象面積： 約0.5ha

調査担当者： 宮内 克己

調査の概要： 調査対象地区は町の東部を流れ別府湾に注ぐ丸尾川の左岸、標高30～40mの丘陵部分にあたる。

路線予定地内に4本のトレンチを設け、重機により試掘調査を実施した。分布調査時点では若干の遺物の散布が認められたが、各トレンチから遺物及び遺構は全く検出されなかった。



第3図 真那井地区の位置

3. 三尺山地区

現在地： 速見郡日出町大字大神字新貝、他

事業名： 広域農道整備事業 日出

調査対象面積： 約1ha

調査担当者： 宮内 克己

調査の概要： 本地区は軒ノ井地区の西側約2kmの比較的起伏の少ない台地上に位置し、計画路線の東側に縄文～弥生時代の周知遺跡が存在する。

工事予定地内に4本のトレンチを設定し、重機による試掘を行った。

調査の結果、かつて大規模な土地改良が行われており、遺構や遺物の出土は認められなかった。



第4図 三尺山地区の位置

4. 野津原西部地区

現在地：大分県野津原町大字上詰字灌水

事業名：県営農地利用権設定促進ほ場整備事業
野津原西部地区

調査対象面積：7.8ha

調査担当者：宮内 克己

調査の概要： 本事業の対象地は、町の西北部の丘陵地に位置し、起伏に富んだ複雑な地形を呈する。現在棚田として耕作されている大半は、江戸中期に開墾された井路により水田化されたものとされる。

調査は工事により削平を受ける部分を主対象とし、計14本のトレンチを設定し重機により掘り下げた。表土下にアカホヤ火山灰層や黒色土層・ローム層等の土層が確認されたが、遺物は全く出土せず遺構も確認されなかった。



第5図 野津原西部地区の位置

5. 犬飼地区

現在地：大野郡犬飼町大字下津尾

事業名：農免農道整備事業 犬飼地区

調査対象面積：約0.2ha

調査担当者：宮内 克己

調査の概要： 調査区は町の東北部、大分市と隣接する谷部の緩斜面に位置し、その北側に天面山城が存在する。

農道建設予定地内にトレンチ2本を設け重機による試掘を行った。その結果、地表下約20～50cmの所で地山を検出したが、遺構や遺物は皆無であった。



第6図 犬飼地区の位置

6. 大野川中央地区

現在地：大野郡千歳村大字下山
事業名：畑地帯総合整備事業 大野川中央地区
調査対象面積：約0.3ha
調査担当者：宮内 克己

調査の概要： 調査地点は千歳村の中央部の台地上に位置し、その東側には約300基の住居跡や並倉等が検出された大野川中流域屈指の大集落跡として知られる鹿道原遺跡がある。

浄水場の建設に伴う調査であり、予定地に4×70mのトレンチを設定し、重機により掘り下げた。地表下約20～50cmでローム層の地山を検出したが、遺構や遺物は認められず、部分的にローム層の掘り下げも行ったが旧石器の出土もなかった。



第7図 大野川中央地区の位置

7. 朝倉地区

現在地：大野郡朝地町大字朝倉
事業名：県営担い手育成基盤整備事業 朝倉地区
調査対象面積：約7ha
調査担当者：宮内 克己

調査の概要： 朝地町のほぼ中央部を流れる真竹川の右岸の水田が対象であり、その西側の台地上は朝倉遺跡群として周知されているが実態は不明な部分が多い。

調査は削平となる部分を対象とし、5箇所にトレンチを設定し重機により掘り下げた。その結果、地表下約60cmの所で地山を検出したが遺物・遺構は皆無であった。



第8図 朝倉地区の位置

8 宮生地区（道祖神遺跡）

現在地：大野郡朝地町大字宮生字道祖神

事業名：県営農免農道整備事業

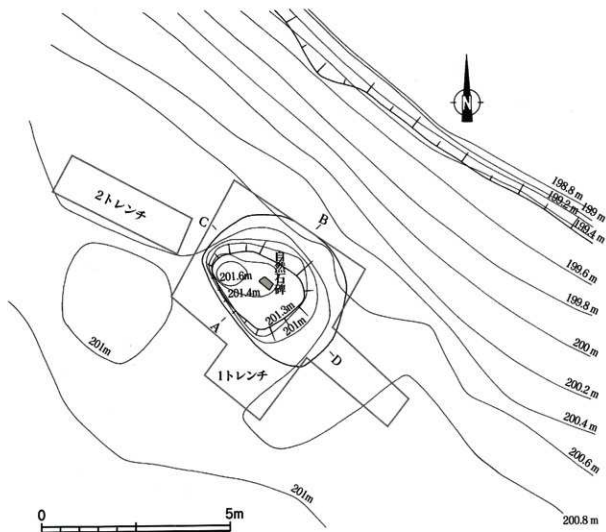
調査対象面積：23㎡

調査担当者：原田昭一・吉野公紀

位置：調査対象地は、集落に隣接する丘陵頂部平坦地を利用した畑地に見られる集石塚である。この畑地の入口には朝地町指定有形文化財である道祖神社の小祠があり、「道祖神」は周辺の字名にもなっている。道祖神社の小祠の周辺には18世紀以降の庚申塔が10基前後をはじめ、石造弘法大師・地藏・如意輪観音・一石五輪塔などが集められ、また、道祖神社の小祠内には男根状石製品・木製品・土製品や棟札が多数納められており、雑多な民間信仰の場として集落民の信仰対象とされている。



第9図 道祖神遺跡の位置



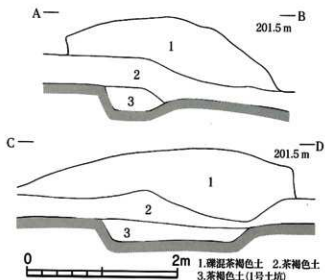
第10図 道祖神遺跡地形測量図

位置： 約4×3m、高さ0.7mの集石による塚上に、自然石板碑が1基建てられていた。集石塚の掘り下げと下部及び周辺に2箇所のトレンチを設定し、調査を行った。集石塚は小石から一抱えもあるものまで大きさは様々で、表面に近い部分には比較的大きな石を配している。これらの集石はほとんど周囲から寄せ集められたものと考えられ、地元で「灰石」と呼ばれる軟質の凝灰岩である。集石塚下には周辺の畑地耕作と同様に石が非常に少ない茶褐色土が広がり、地山は灰石の岩盤から成る。集石塚下には縦2m、横1.1m、深さ34cmの土坑が見られたが、土坑中には灰石の礫が数点見られたほかに遺物の出土は確認できなかった。

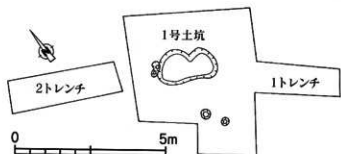
凝灰岩の割石を利用した自然石板碑は、「北国 妙林大菩薩位 寛永十六天 十月十四日」と細い陰刻による銘が刻まれ、寛永16年(1639)の紀年銘が確認できる。高さ57cm、横41cm、奥行き12cmを測り、加工はほとんど施されていないが、正面周縁部のみ細かい剥り痕が確認できる。

遺物： 遺物は集石塚上層の礫中から出土した。小杯・燭台・狐形土製品・土人形台座をはじめとして明治時代以降の遺物が出土した。その用途からみて、狐形土製品は稲荷信仰に伴うもの、小杯は酒器と考えられ、これらの遺物は集石塚に伴う祭祀に使用したものであることがうかがえる。

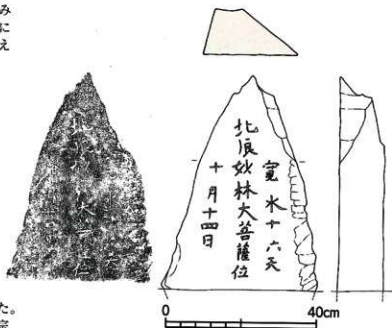
まとめ： 大分県下では、近世初頭の銘を持つ自然石板碑は比較的類例が少なく、17世紀前半の板碑は大野郡全域において整形板碑を含めても10例にみえない。当遺跡の場合、自然石板碑が遺構との繋がりで捉えられる稀な調査例として期待されるものであった。まず、自然石板碑の銘から宗教者に関する墓碑と想定できる。大分県下では、このよう



第11図 道祖神遺跡集石塚断面図



第12図 道祖神遺跡1・2トレンチ遺構配置図



第13図 道祖神遺跡自然石板碑実測図

な自然石板碑は戦国時代後半から類例が増加しはじめ、17世紀中葉、近世墓碑の出現に伴い減少していく碑形態であり、墓碑や庚申信仰など民間信仰に基づく碑としてみられることが多い。道祖神遺跡自然石板碑が、小型でありながら、その稀少さゆえ、当該地域においては傑出した人物の墓碑であることが想定できる。

調査の結果、集石塚の下部から土坑が検出されたものの、出土遺物は見られず、その性格は明らかにしえなかった。また、集石塚は周辺の畑地耕作土と同じ層の上に築かれているため、下部に検出された土坑と積極的に関連付けにくい。集石塚の形成時期を明らかにできる資料は発見できず、自然石板碑自体、移転された可能性も残るため、寛永16年を前後する時期とも決めがたい。

道祖神遺跡集石塚に対して、地元では盆時期の清掃及び読経をはじめとした仏教行事が受け継がれてきてはいるが、それがどのような信仰にもとづくものか全く明らかではない。集石内から稲荷信仰を物語る弧形土製品が出土するなど、集石塚が信仰対象として雑多の民間信仰を包括していることがうかがわれる様相が見られる。それは隣接する道祖神社が雑多な信仰形態をもつことと様相を同じくする。神であろうと仏であろうと山あいの小集落に豊饒・健康・幸福をもたらす集落民共通の信仰対象として位置付けられたものと考えられよう。



道祖神遺跡集石塚



道祖神遺跡集石塚断面



道祖神遺跡集石塚断面



道祖神遺跡1トレンチ完掘状態



道祖神遺跡自然石板碑正面（移転後）



道祖神遺跡自然石板碑横面（移転後）

9. 久住中央地区

現在地: 直入郡久住町大字有氏
事業名: 県営担い手育成基盤整備事業
久住中央地区
調査対象面積: 約0.5ha
調査担当者: 宮内克己・樺浦幸徳

調査の概要: 調査地区は久住町の東部にある三重農業高校久住分校の西側に位置する谷水田である。弥生時代の池畑遺跡に隣接し、古来より水田として営まれていた可能性が高い。
工事予定地内に3箇所のトレンチを設け、重機による調査を実施した。各トレンチとも地表下約80cmで地山を検出したが、遺物は出土せず遺構も認められなかった。



第14図 久住中央地区の位置

10. 山中地区

現在地: 直入郡久住町大字朽木
事業名: 県営中山間地域総合整備事業
山中地区
調査対象面積: 約11ha
調査担当者: 宮内克己・樺浦幸徳

調査の概要: 大分川と大野川の分水嶺である小倉峠の西南を流れる境川の左岸に、湧水でその名を知られる老野地区がある。標高約530~550mの河岸段丘に拓かれた棚田水田が対象となり、工事により削平される部分15箇所にトレンチを設定し人力と重機による調査を実施した。

その結果、老野湧水に近く境川に向かって舌状に張り出した部分2地区(A、B)において中世の建物群を構成すると思われる多数の柱穴や溝・土坑等の遺構や青磁などの遺物が検出された。また、A区ではその下位に縄文早期の遺物包含層が一部存在することも判明した。

所見と取扱い: 久住町では縄文早期押型文期の遺跡は少なく、本遺跡は比較的小規模と推測される。担当部局と町教育委員会及び県文化課との協議により一部を除き来年度本調査を行うこととなった。



第15図 山中地区の位置



11. 荻西部地区

現在地：直入郡荻町大字桑木
事業名：農免農道整備事業 荻西部3期
調査対象面積：約0.5ha
調査担当者：宮内克己・荒井孝廣

調査の概要： 荻町の西部のやや小規模な台地と丘陵部が工事対象地であり、全体が山の神谷遺跡群として囲われている。平成8年度に試掘調査が行われ弥生時代後期の住居跡数基の存在が確認された部分の西側丘陵が今年度の調査区にあたる。

重機による試掘調査の結果、遺物や遺構は検出されなかった。従って、今回調査の地区については施工にあたり問題ないが、平成8年度に確認された部分は荻町教委による本調査が実施されることとなった。



第16図 荻西部地区の位置

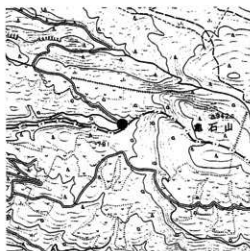
12. 日田地区

現在地：日田郡天瀬町大字出口
事業名：広域農道整備事業 日田地区
調査対象面積：約0.25ha
調査担当者：甲斐寿義

調査の概要： 天瀬町の南東部、熊本県との県境に標高942m余りの亀石山があり、その西側のやや平坦な丘陵部分が今年度の対象地である。その北に隣接し旧石器時代の亀石山遺跡が所在する。

工事予定地内に16箇所のトレンチを設定し重機による表土等除去の後、人力により掘り下げた。その結果、各トレンチのアカホヤ火山灰層とローム層の間層からマイクロブレード等の旧石器や剥片が出土した。また、一部ではアカホヤ層を切り込んだ竪穴住居跡と考えられる遺構の存在も確認された。

所見と取扱い： 今回の調査により亀石山遺跡は従来の想定より更に南側に広がる事が判明した。その取り扱いについては現在協議中である。



第17図 日田地区の位置



13. 上津江地区

現在地：日田郡上津江村大字川原字白草

事業名：中山間地域総合整備事業 上津江地区

調査対象面積：約2.5ha

調査担当者：甲斐寿義

調査の概要： 調査地は上津江村の南西部、熊本県との県境に近い白草地区の谷部とこれに接する丘陵緩斜面に形成された水田である。

工事により削平を受ける部分11箇所のトレンチを設定し、重機により調査を実施した。遺跡の存在が予想された丘陵部は大きく改変されており、埋蔵文化財は皆無であった。その他の地区においても同様であった。



第18図 上津江地区の位置

IV. まとめ

平成11年度の農業基盤整備関係諸事業は192地区において計画・実施されたが、その数字はここ数年来的には場整備事業の減少とこれに反比例し増えている各種農道事業をそのまま反映している。また、最近では山間部における小規模な場整備事業や水環境整備事業などインフラ整備の事業増加も時代の変化と言えよう。

各試掘調査と遺跡の存在が確認され、関係各機関との協議の結果、本調査を実施することとなったのは十数地区に及ぶが、2箇所以上で長期間の調査を行ったものが3市町村ある。また、これらの調査に対応新たに専門職員を配置した市町村もあり、文化財保護の体制はより強まりつつある。

現在、大分県下において大規模な場整備事業が行われているのは安心院町、豊後高田市、竹田市、久住町、天瀬町、日田市などの内陸部の盆地や山間地と国東半島の一部である。そのピークは越えたと言えるが、10haを越す規模で工事が予定されている所では、農業基盤整備諸事業のみならず各種開発事業の調整や埋蔵文化財の保存・調査に苦慮している部分も少なくない。大分県文化課では指導・調整や市町村への応援を可能な限り行い、通年施工の増加など比較的緩やかな事業の実施に開発部局側の協力も得ているが、市町村によっては更に保護体制の強化が望まれる所もある。しかし、単年度に多量の事業量が集中する場合などは、どのような保護・調査体制がより望ましいものであるか関係各機関で検討し実施する必要がある。

大分県埋蔵文化財年報8
平成10年(1998)年度版

平成12年3月31日

編集 大分県教育庁文化課(文化財資料室)
〒870-1113 大分市中判田1977-1
TEL 097(597)5675

発行 大分県教育委員会
〒870-8503 大分市府内町3丁目10番1号
TEL 097(536)1111

印刷 株式会社高山活版社
